



十三日夕方からのお参り

八月はお盆の月です。精靈お迎えの十三日には毎年檀信徒の方が家

瞼をとじれば 在りし日の
面影浮かぶ みほとけを
法悦（よろこ）び迎えし
盂蘭盆会
いのちの集い 有り難や
〈盂蘭盆会御和讃〉

乗 雲

寺報
第126号
R6/8/1 発行

1985/4 創刊

〒959-2646 新潟県
胎内市西栄町2-8
TEL 0254-43-4199
FAX 0254-43-4560
編集人 広嚴寺
住職 神田英俊

メール
otera@kogonji.jp

族揃つてお墓、本堂並びに各家の先祖の位牌が祀つてある位牌堂へお参りに来られます。特にコロナ感染症が収束してからは例年どおりのお参りに戻りつつあります。コロナ前はお参りの方には麦茶の接待がありました。今はお茶の持ち帰りとしています。十三日夕方から出店していただいている新潟名物「ポッポ焼き」も皆さん懐かしく買って行かれます。

お盆のことは、「盂蘭盆会うらぼんえ」と言います。盂蘭盆の由来はお釈迦さまの十大弟子の一人である目蓮尊者が、餓鬼の世界に墮ちて苦しんでいる母親を救うお話をもとにっています。目蓮尊者はお釈迦さまに何とか母を救いたいと懇願します。お釈迦さまは修行僧が夏の修行を終える日である七月十五日（旧八月十五日）にその大勢の僧に飲食をもてなして供養す

れば、その僧たちの力により母は救われると言われました。目蓮尊者の母を想う心、祈りが通じ、安らかな世界へと導かれて行きました。

私の師匠、神田洞光和尚は今年亡くなつてから十七年目です。世寿八十六歳でした。母は来年二十三回忌を迎えます。世寿七十七歳。師匠は北海道で出生、幼い頃に父親が亡くなり、岐阜の親戚の家で育ち、福井県坂井郡丸岡町（現坂井市）の長昌寺（住職神田徳仙）に小僧として預けられました。師匠である徳仙方丈とともに中条の当寺へ入りました。

六十歳頃から心臓を患つていました。母は縁あつて関川村内須川から広嚴寺に嫁ぐ。晩年は認知症が進んでいました。病床にて肺炎を併発し旅立たれました。一生懸命に寺を護り、この世を生きた二人、冥土にあってどんな暮らしをしているでしょう。「瞼をとじれば在りし日の面影が浮かんで来ます。」

お盆には亡き人、ご先祖さまが帰つて来られます。亡き人を想い、自分の命を授けてくれた父母や遠い先祖さま共々に心から供養の誠を捧げましよう。

令和六年 年回忌表	[回忌]	[没年]
一周忌	令和五年	平成三十年
三回忌	令和四年	平成二十四年
七回忌	平成二十年	
十三回忌	平成十四年	
十七回忌	平成十年	
二十三回忌	平成十四年	
二十七回忌	平成四年	
三十三回忌	平成四年	
五十九回忌	昭和五十年	
百回忌	大正十四年	
▼令和六年度(2024)の年回忌表です。		
当寺では個人情報保護の観点から本堂には張り出ししていません。年忌に当たられている各家には昨年十一月に通知していますのでご確認ください。		
▼日曜・祝日のご法事の申し込みはお早めにお願いいたします。 ▼「周」は「めぐる」ことを意味する言葉で、亡くなつてからちょうど一めぐりした翌年のその日を一周忌と呼ぶ。回忌とは亡くなられた日を最初の忌日と考えて、三回目の忌日が「三回忌」となる。		
以降は丸六年目が七回忌、丸十二年目が十三回忌となる。		

□仙台の名刹輪王寺参拝と松島・

秋保温泉の旅終了

五月二十三日二十四日（一泊二日）無事お参りと観光をしてまいりました。輪王寺は村上市門前耕雲寺六世太庵梵守大和尚が開かれました。因みに当寺は耕雲寺十六世海應生寿山大和尚が開山です。

同末の寺です。参加者は十五名。当寺年一回の檀信徒研修旅行です。是非ご参加頂ければ幸甚に存じます。尚、来年は長野・善光寺参拝を予定しています。

□過去の当寺研修旅行

- ・越後三十三觀音巡礼の旅（三回）平成十一年、十二年、十三年
- ・高崎達磨寺参拝・鹿教湯温泉
- ・平成十三年七月（一泊二日）
- ・永平寺道元禪師七百五十回忌参拝
- ・平成十四年四月（二泊三日）
- ・秩父三十四所觀音靈場参拝
- ・平成十四年十月（二泊三日）
- ・奈良大和十三仏靈場巡礼の旅
- ・平成十五年六月（三泊四日）
- ・巣鴨とげぬき地蔵・浅草寺参拝

平成十六年六月（一泊二日）
鎌倉道元禪師顯彰碑参拝・箱根湯本
平成十七年六月（一泊二日）

大本山永平寺焼香師団参・下呂温泉
平成十八年九月（二泊三日）
高崎達磨寺参拝・日光・鬼怒川温泉
平成十九年十月（一泊二日）

最上三十三所觀音巡礼の旅
平成二十年六月（二泊三日）
善光寺御開帳参拝・宿坊常円坊
平成二十一年五月（一泊二日）
永平寺先住入祖堂・おごと温泉
平成二十一年九月（二泊三日）
迦葉山参拝・茂林寺・伊香保温泉
平成二十二年六月（一泊二日）
鶴岡善寶寺参拝・藏王・湯野浜温泉
平成二十三年七月（一泊二日）
能登總持寺祖院参拝・輪島・高洲園
平成二十四年七月（一泊二日）
授戒会で休止（二十五年）
飛驒参拝中止（二十六年）

迦葉山参拝・日光・鬼怒川温泉
平成二十九年五月（一泊二日）
令和元年九月（二泊三日）
（平成三十年休止）
永平寺先住十三回忌・おごと温泉
令和元年五月（一泊二日）
（令和二年～四年
コロナ感染症拡大により休止）
会津三觀音参拝・母畠温泉
令和五年五月（一泊二日）
仙台輪王寺参拝・松島・秋保温泉
令和六年五月（一泊二日）

曹洞禅ネットホームページ

<https://www.sotozen-net.or.jp/>

曹洞禅ネットでは、「供養法要について」内の「供養について」のページから、中陰表・年回表の計算・作成ができるようになりました。ご活用ください。



曹洞禅ネット

忌日表・年回表作成

迦葉山参拝・日光・鬼怒川温泉
平成二十九年五月（一泊二日）
（令和二年～四年
コロナ感染症拡大により休止）
会津三觀音参拝・母畠温泉
令和五年五月（一泊二日）
仙台輪王寺参拝・松島・秋保温泉
令和六年五月（一泊二日）

和尚さんの言の葉

曹洞宗新潟県第四宗務所（所長

新潟市觀音寺住職阿部正機師）では
四月一日より宗務所管内寺院による
テレホン法話が始まりました。和尚さんのお話を聞きください。

新潟県曹洞宗第四宗務所
テレホン（WEB）法話
おしゃうことは
和尚さんの言の葉



法話者一覧（八月～十二月）

8月 1～10日	五泉市 永谷寺 吉原東玄
8月 11～20日	新潟市北区 智堂寺 佐藤慈光
8月 21～31日	阿賀町 宝来寺 乙川大樹
9月 1～10日	村上市 千眼寺 神田秀孝
9月 11～20日	新潟市南区 林葉寺 武藤悠真
9月 21～30日	阿賀野市 釋尊寺 新澤光榮
10月 1～10日	阿賀野市 龍源寺 小野利行
10月 11～20日	新潟市秋葉区 錦繡寺 目黒雄生
10月 21～31日	新発田市 相円寺 宗像義順
11月 1～10日	阿賀野市 淵龍寺 永島昌典
11月 11～20日	五泉市 安養寺 権平一宗
11月 21～30日	新発田市 如意寺 寺尾英人
12月 1～10日	新潟市江南区 亀壽院 飯村孝彰
12月 11～20日	五泉市 正雲寺 増井聰海
12月 21～31日	新発田市 清流寺 二瓶法尊

写経の会 每月第2日曜 午後1時～3時（1月2月は休会） 静かなお寺で功德を積みましょう。

□涅槃聖苑（合祀墓）

現在計画中のお墓は、「個人集合型合祀墓」と言い、永代供養を希望する方のお墓です。

近年は、一、経済的にお墓を維持するのが難しい。二、子どもが地元を離れているのでお墓を建てても継承ができない。三、単身で身寄りがなく後継者がいない等の悩みや不安を抱えている人が多くなっています。



合祀墓 地盤改良工事

□大般若会終了報告



法要中の大般若經転読

六月十日当寺大般若会法要が無事円成いたしました。十時より大般若法要、引き続き檀信徒供養法要、終わって村上市大須戸東泉寺野田豊文老師によるご法話があり、その後参加者はお弁当持ち帰りにて一切の行事が終了しました。ご寺院一二十二名檀信徒四十名の参加でした。

□善福寺晋山結制式無事円成

六月八日九日の両日、村上市瀬

波・善福寺様では、細野徳彰師の晋山結制式（住職就任式）が、西堂に本寺耕雲寺住職菊地光彦老師をお請し、寺院七十六名、檀信徒大勢集い厳かに挙行された。徳彰師は二人に入ることができます。今年中には建立予定です。



寺大般若会は境内復興の為、本年より令和十年まで休止となります。

雲泉寺水害その後（住職神田恭真）

令和四年八月の県北豪雨の際に

本堂裏山から土石流が流れ込み、本堂、庫裏及び前側の鉢江沢川沿いの崖が崩落し甚大な被害を受けました。あれから二年、このたび関川村役場担当職員が現状を視察、少しづつですが復旧工事が行われるようになります。早期の復旧が待たれます。

年忌法要

仏事の知識

人が亡くなると一周忌から始まる年忌法要を行う。翌年の三回忌からは「3」と「7」のつく年忌を勤める。これは日本独自に始まつたものとされている。なぜ「3」「7」なのかというと諸説がある。「3」「7」は仏教で特に大切にされている数字であり、「3」は「2」を超えたもので、「有・無」、「損・得」や「正・邪」などの、どちらの極端にもどちらに生きていく「中道」の教えを表す。「7」も迷いの六道の世界を超える意味がある。本来は毎年の命日に供養すべきであるが毎年の法要となると大変すぎるので、せめて大切な数字の「3」と「7」のつく年忌に故人を偲ぶとともに、迷いを超えた正しい道（中道）を歩んで行きますと亡き人に誓う法要にしたいものです。

*今までの仏事の知識は当寺ホームページでご覧いただけます。

仏事の知識 ↓



□秋の仏教講演会

期日	十月十三日(日)
時間	午後一時三十分～三時
会場	広厳寺本堂
講師	采川道昭師
会費	五百円
演題	「一仏両祖のみ教え」
主催	胎内市曹洞宗寺院
共催	胎内市仏教連合会



采川道昭師

●住居が変わりましたら住所変更の連絡をお願いします。檀家さんへ発送しているお寺の便りが数軒戻っています。

訂正 乗雲五月号で期日を、十月十二日(土)とお知らせしましたが十三日(日)に訂正します。

*チケットは最寄りの曹洞宗寺院及び仏教連合会寺院にて販売しています。

昭和二十四年生まれ、タイ国パツトワクナム留学、大本山總持寺講師、南アメリカ国際布教總監、現静岡県袋井市 可睡齋住職。

講師プロフィール

ツトワクナム留学、大本山總持寺講師、南アメリカ国際布教總監、現静岡県袋井市 可睡齋住職。

□境内風景

・六月～七月

本堂鉄骨柱鋲止め工事

・七月五日

墓地除草剤散布

・七月十六日

墓地自然ゴミ処理

高橋土建

小野工務店



腐食した本堂鉄骨柱の鋲止め工事を行いました。



お寺からのお願い

寂光塔（永代供養墓地）

一人暮らしの方、お墓継承にお悩みの方、お寺が永代にわたり供養いたします。広厳寺ホームページにも詳細が掲載されています。



動物供養塔（ペット墓地）

動物のお骨を埋葬いたします。檀家さん以外でも納骨供養できます。



動物供養塔（ペットのお墓）

